

学校の教育目標	すすんで行く二小の子 ○思いやりのある子 ・やりぬく子 ・元気な子 ○考える子
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す子供像	○活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子
特別活動の重点目標	○異年齢がかわる活動を取り入れることで、協力し助け合う活動を重視・充実させ、人を思いやる心を育成する。 ○話し合い活動の能力を高めることで、互いの立場や考えを尊重し合う態度を育成する。

目標		学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
指導の方針		1 学級生活が楽しく豊かになるために話し合い活動を行い、決まったことは実践し、反省する能力を身につけさせる。 2 学級の一員としての自覚を深め、仕事を分担し、よりよい生活を築こうとする態度を育てる。 3 集団生活を営むための健全な生活を身につけさせる。 4 生活指導との関連を図る。	1 学校生活が楽しく豊かになるために、話し合い活動を行い、決まったことは実践し、反省する能力を身につけさせる。 2 学校内の仕事を分担し、よりよい生活をするために協力して仕事を行う。 3 学校の一員として、活動を自治的・自発的にを行い、自主的な態度や社会性を育てる。	1 児童の希望を生かした適切なクラブを設け、児童の創意工夫によって計画運営ができるようにする。 2 教師の適切な指導の下に、活動を自発的・自治的に行うことにより、自主性と社会性を育て、個性の伸長を図る。 3 スクールボランティアを導入することにより、児童の個性の伸長を図る一助とする。	1 学校生活に節目をつけ、日常の学習や経験を総合的に発揮させ、その発展を図る。 2 行事に積極的に参加する態度を養う。 3 二之江二小の一員としての自覚をもたせ、感動的な体験を通して、学校生活を楽しく豊かなものとする。
主な指導内容		(1) 学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全 ア 希望や目標をもって生きる態度の育成 イ 基本的な生活習慣の育成 ウ 望ましい人間関係の育成 エ 清掃など当番活動の役割と働くことの意義の理解 オ 学校図書館の利用 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	(1) 委員会活動 ・運営・集会・保健・放送・体育 ・飼育栽培・図書 (2) 全校児童集会 ・体育・音楽集会 ・1年生を迎える会・6年生を送る会 ・児童集会 (3) にこにこ班活動 ・にこにこ班であそぼう集会	(1) クラブ ・屋外スポーツ・屋内スポーツ ・科学・ダンス・図工 ・音楽・料理・手芸 (2) クラブ発表 (3) クラブ見学	(1) 儀式的行事 ・入学式・卒業式・始業式・終業式 ・修了式・離任式 (2) 文化的行事 ・展覧会・芸術鑑賞教室(全学年) ・音楽鑑賞教室(6年)・書き初め大会 (3) 健康安全・体育的行事 ・運動会・持久走記録会・避難訓練 (4) 遠足・集団宿泊的行事 ・ペア学年遠足 ・ウインタースクール・日光移動教室 (5) 勤労生産・奉仕的行事 ・緑公園の花の育成・校庭整備
他の教育活動との関連	各教科・読書科	国語科を中心として各教科等で身に付けた言葉を的確に理解したり表現したりする能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力、要約して記録する能力などを実践的に活用したり、向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導については、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科等で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにする。また、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の学習に生かすようにする。	各教科等の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動を促し、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにする。また、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、その他の教育活動においても生かされるようにする。	各教科等で身に付けた能力などを、学校行事においてよりよく活用できるようにする。また、学校行事で身に付けた自主的、実践的な態度を各教科等の学習に生かすようにする。
	道徳	低学年では、友達と仲よくし助け合うこと、学級や学校の生活を楽しくすることを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	低学年では、わがままをしないこと、身近にいる人に温かい心で接し親切にすることを、中学年では、自分でできることは自分でやりよく考えて行動すること、相手のことを思いやり進んで親切にすることを、高学年では、だれに対しても思いやりの心をもち相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進み参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもちて接することを重視する。5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をより良くすること、誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	(1)の儀式的行事では、時と場をわきまえて礼儀正しく真心をもって接することを、(2)の文化的行事では、美しいものに感動する心をもつことを、(3)の健康安全・体育的行事では、自他の生命を尊重することを、(4)の遠足・集団宿泊的行事では、自然の偉大さを知り自然環境を大切にすることを、(5)の勤労生産・奉仕的行事では、働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
	総合的な学習の時間	友達とのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を効果的に展開する。	異年齢集団の中でのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を効果的に展開する。	異年齢集団の中でのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を効果的に展開する。	友達や異年齢集団の中でのかかわりを大切にしなが、国際理解にかかわる交流等を含む体験的なコミュニケーション活動を行う。
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自らの課題発見力、問題解決能力、主体的、協同的な学習態度を、学級活動に生かす。	総合的な学習の時間で身に付けた問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、委員会活動、児童集会、にこにこ班活動の企画・運営などに生かす。	総合的な学習の時間で身に付けた他者と協力して問題を解決しようとする力や問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かす。	総合的な学習の時間における自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動との関連を図る。
家庭や地域との連携		家庭での教育と連携を図り効果的な指導をする。	飼育委員会の活動においては、「飼育ボランティア」の方から、図書委員会の活動においては、「え・ほんの会」の方から協力を得て、活動をより豊かなものにする。	集団の一員として、自主的・実践的な態度を育てる。	行事等での地域の方との交流を大切にし、家庭や地域との連携を図る。